

Contents

- **PICK UP!** 地区地域福祉活動計画…②
- 住民福祉会リポート…③
- 被災地支援報告…④
- 令和元年度
赤い羽根共同募金運動のご報告…⑤
- 活動レポート地域でキラリ!
インフォメーション ほか…⑥
- 善意の寄付に感謝を込めて…⑦
- 令和元年度
上越市社会福祉協議会表彰式 ほか…⑧



めぐりんかべの一言!

ふだんの
くらしを
しあわせに



上越市社協マスコット
キャラクター「めぐりん」

諏訪区での上越市地域福祉活動計画説明会の様子です。

全市の計画に沿って、地区独自の地域福祉活動計画をつくる取組が始まっています。

それぞれの地区で安心して暮らし続けることができるよう、みんなで力を合わせ必要な福祉活動を進めていきましょう！

PICK UP!

地区独自の地域福祉活動計画づくりがすすんでいます

昨年の3月に策定された、「上越市地域福祉活動計画」をすすめていくために、地域ごとの個別計画となる「地区地域福祉活動計画」の策定が始まっています。

福祉（生活）課題は地域ごとに違いがあります。その解決を図るために、地域ぐるみで取り組むべきことを整理し、実践していく方向性を示すものが、「地区地域福祉活動計画」です。

これまで、諏訪区、中郷区、名立区で計画づくりのための検討会や懇談会が行われ、4月には3地区それぞれの地域福祉活動計画が完成する予定です。

今回は、3地区の取組状況

を紹介します。



名立区地域福祉活動計画検討委員会

名立区

みんなの想い（スローガン）

一人ひとりが支え合い、誰もが安心して暮らせる
福祉のまち・名立



中郷区、名立区では2回の地域懇談会が行われました。

参加者の声からキーワードを整理し、検討委員会で話し合ひ、こんな地域をつくりていこう！というスローガン「みんなの想い」がまとまりました。



中郷区

みんなが笑顔！
人情味あふれ、
安心して暮らせるまち 中郷



諏訪区

諏訪区では、住民への地

域福祉活動計画の説明会と1回目の地域懇談会が開催され、こんな諏訪にしたいという「想い」が数多く出されました。

各地区では、「みんなの想い」（スローガン）を形にしていくための行動目標についてこれら検討、整理し、地区独自の地域福祉活動計画がつくられています。



中郷区地域福祉活動計画検討委員会

住民福祉会リポート

令和元年度は8地区で、住民主体の様々な
「地域福祉活動」が行われました。

令和元年度「住民福祉会」取組地区 新道区・諏訪区・和田区・有田区・吉川区・中郷区・三和区・名立区

令和元年度は8つの地区で「住民福祉会」の取組が行われ、それぞれの地域で必要な福祉活動が実施されました。今回は、新道区・諏訪区・有田区の取組を紹介します。

諏訪区住民福祉会

諏訪区のみんなで学ぶ 地域ぐるみの防災講座

9月11日、諏訪小学校体育館にて防災講座を開催しました。

消防署と諏訪区防災士の協力により、諏訪小学校児童と地域の方々が一緒になっての濃煙体験、応急担架作り体験や上越市社協職員による「災害支援と地域の支え合い」をテーマとした講話を聞き、災害に対する意識づけや日ごろからお互いを気にかけ、助け合うことの大切さを学びました。

特に小学生と地域の方々が声をかけ合い、協力して各体験を行ったことは良い経験となりました。



新道区住民福祉会

おひとり様のための お楽しみ交流会



11月13日に、ひとり暮らしの高齢者がいきいきと充実した生活が送れるように、『おひとり様お楽しみ交流会』を開催しました。

レクリエーションや地域包括支援センターの職員さんからの講話、婦人会によるお手製のお弁当、フラダンスやマジックショーなど盛り沢山の内容でした。参加者からは、来年の開催を望む声が多く上がっていました。



有田区住民福祉会 地域で見守る 認知症の理解を深める講座

11月27日にカルチャーセンターで、「地域で見守る 認知症の理解を深める講座」を開催しました。

地域住民、町内会長、民生・児童委員、地域包括支援センター職員等が集まり、認知症の症状やその対応を学びました。

すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに繋げる良いきっかけとなりました。



※「住民福祉会」とは…

住民が自ら地域の福祉（生活）課題等について考え、その解決に向けて自主的に福祉活動を実践する活動組織です。全国的にも「地区社協」、「校区福祉会」等の名称で設置されています。（上越市では「住民福祉会」という名称で上越市社協が地域に働きかけ、取組みを進めています。）



被災された方や 地域に寄り添う

被災地支援報告



当会職員がスタッフとして活動しました

昨年10月に発生した台風19号は全国各地に大きな被害をもたらしました。隣県長野県においても、多数の家屋が床上・床下浸水し、今なお被災地域では復旧・復興活動が行われています。当会では、被災された方々が一日でも早く日常生活を取り戻し、安心した生活が送れるよう長野県への支援活動を行いました。

飯山市へのスタッフ派遣

大規模な災害が発生すると被災地ではボランティア活動を行



大量の泥を床下から除去しました

長野市への ボランティアバス運行

う拠点として災害ボランティアセンターが設置されます。本災害では当会の自主的な判断で長野県飯山市に職員を派遣し、延べ6日間11名が災害ボランティアセンターの運営支援活動を行いました。

センターとして災害ボランティアセンターが設置されます。本災害では当会の自主的な判断で長野県飯山市に職員を派遣し、延べ6日間11名が災害ボランティアセンターの運営支援活動を行いました。

上越圏域からボランティアバスを運行し、被災された地域の支援活動を行いました。被災者

域・被災した方々を忘ることなく、継続した支援活動に取り組んでいきます。

ボランティアバス運行日	活動者数
10月27日㊀	19名
11月 5日㊁	24名
11月24日㊂	25名
11月20日㊃	13名
11月28日㊄	14名

宅の床下の泥出し作業に加え、リンク農家の樹木周りの泥の除去など、長野市特有の多様な活動となりました。

今回のボランティアバスは市内の各種団体が連携した上越市単独運行に加え、近隣の妙高市及び糸魚川市との協働による運行を行いました。いざ災害が発生した時には、日々の繋がりや連携が大きな力になります。



災害ボランティア支援者養成講座を開催します！

大規模災害が発生した際の支援活動は専門職のみでは対応が困難です。災害ボランティアやボランティアセンタースタッフとして活動いただける方々を養成します。

内 容 災害ボランティア活動の実際、災害ボランティアセンターの理解
被害者ニーズ 等

日 時 3月13日金 午前10時～午後4時

場 所 上越市市民プラザ第4会議室（土橋1914-3）

持 ち 物 筆記用具（昼食は非常食を試食予定）

申 込 3月12日㊀までに窓口・電話・FAXにてお申込みください（定員30名）

上越市社会福祉協議会 住所：木田新田1-1-3／電話：526-1515／FAX：526-1230

クイズ1の答え：③ 一年中

（特にスギ花粉が多い2月下旬から3月中旬や、ピークが4月上旬からくるヒノキ科花粉が主ですが、種類や量はそれほど多くはないものの、一年中、花粉は飛散しています。）

上越市社会福祉協議会

令和2年3月1日発行

社協だより ④



じぶんの町を良くするしくみ

令和元年度 赤い羽根共同募金運動のご報告



たちばな春日認定こども園児による
10月1日スタートイベント

「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、昨年10月から12月までの3ヶ月間実施した赤い羽根共同募金運動では、市民の皆さまのあたたかいご支援により、たくさんの善意の募金をいただきました。

運動期間中ご支援いただきました地域の方々、学校、事業所、各種団体の皆さまに心から感謝とお礼を申しあげます。

令和元年度 赤い羽根共同募金運動の実績額

30,953,529円



令和元年度の赤い羽根共同募金運動の目標額は**32,654,000円**でした。
目標額に対する実績額の達成率は、**94.8%**となりました。

・合併前上越市	14,140,139円	・柿崎区	1,864,215円	・板倉区	1,663,104円
・安塚区	897,384円	・大潟区	1,911,714円	・清里区	707,810円
・浦川原区	1,342,621円	・頸城区	1,967,589円	・三和区	1,296,051円
・大島区	657,250円	・吉川区	1,251,149円	・名立区	941,895円
・牧 区	793,622円	・中郷区	1,518,986円		

皆さんから寄せいただいた募金は、
令和2年度の様々な地域福祉活動に活用されます。

福祉教育推進事業（上越市社会福祉協議会）

上越市に暮らす全ての方が思いやりや支え合いの心を育み、みんなで暮らしやすい地域をつくっていくために、様々な年代・世代の方々と「ふくし」に関する理解を深める取組を行います。

小学生や中学生が体験活動や交流活動を行うことで「お互いを認め、支え合える関係を築ける人」として成長していくことができます。



春日新田小学校3年生のボッチャによる福祉交流会

●このほかにも、下記の活動等に活用されます。

- ・「ふれあいいきいきサロン」や「ふれあい支え合いマップづくり」等の地域福祉活動
- ・「上越市ボランティア連絡協議会（障がいのある方との交流会）」や「いちょう食堂の会（こども食堂）」等の福祉活動
- ・様々な災害の支援活動
- ・新潟県全域のボランティア活動や民間NPO等の支援 等

赤い羽根共同募金ホームページ「赤い羽根データベースはねっと」赤い羽根募金の様々な情報を公開しております。

(<http://www.akaihane.or.jp/>)



活動レポート 地域でキラリ!

ボランティアグループ「すずらん」(牧区)



メンバーの皆さん

（作文・会長 梨本典恵様）

「沖見の里」が出来たのは平成11年。待望の終の棲家を少しでも気持ちのよいところにするお手伝いをしたいと「すずらん」は活動を始めました。以来20年、会員は入れ替わりながらも40人程度を保ち、4～5人が一班で週2回、居室と廊下の清掃を続けており、当たり前のこととして施設に溶け込んでいます。

また、デイサービスセンター「やまゆりの家」でも毎月1回、玄関まわりの清掃を続けています。お掃除活動を通して施設に入り出ることで、地域の施設が私たちの居場所として身近なものとなりました。

活動には、赤い羽根共同募金から助成をいただき、また昨年は「沖見の里」から推薦いただき、県知事表彰の栄に与りました。

皆様からのご支援を喜び・励みとしてこれからも末永く、当たり前の事として活動を続けてまいります。

牧村に特別養護老人ホーム「沖見の里」が出来たのは平成11年。待望の終の棲家を少しでも気持ちのよいところにするお手伝いをしたいと「すずらん」は活動を始めました。以来20年、会員は入れ替わりながらも40人程度を保ち、4～5人が一班で週2回、居室と廊下の清掃を続けており、当たり前のこととして施設に溶け込んでいます。

牧村に特別養護老人ホーム「沖見の里」が出来たのは平成11年。待望の終の棲家を少しでも気持ちのよいところにするお手伝いをしたいと「すずらん」は活動を始めました。以来20年、会員は入れ替わりながらも40人程度を保ち、4～5人が一班で週2回、居室と廊下の清掃を続けており、当たり前のこととして施設に溶け込んでいます。



り、将来入居への不安や入居されている方の寂しさが少しでも少なくなればと願っています。

長く続けてこられたのは「無理なく楽しく」を合い言葉に、ボランティア団体だからこそ申し込め

る施設の見学や、芸達者が揃うお楽しみ会などの催しを通して会員の親睦がはかられ、お互いを思いあつているからではないかと

インフォメーション(お知らせ) Jouetushisyakyo Information

空き家相談会の開催

地域課題となっている「空き家」について「ためになる講話」と「個別相談会」を開催します。

- 日 時 3月19日㊁ 午後1時30～午後3時30分
- 場 所 上越市福祉交流プラザ第6会議室
- 内 容 講話：空き家と遺品整理（仮題）
個別相談：空き家の所有者など
- 講 師 名 新潟ホーム管理サービス
- 対 象 者 上越市在住の方 ●参 加 費 無料
- 申 込 講話の申込は不要です。個別相談はお一人30分程度となりますので事前にお申し込みをお願いします。（定員6名）

*3月16日㊁までにお申し込みください。

[申込・問合先]

上越市社会福祉協議会 地域福祉課
住所：木田新田1-1-3
☎ : 025-526-1515/FAX : 025-526-1230
Eメール：jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp

第72回全国人権・同和教育研究大会開催に向けて 同和問題について学びませんか! ～出前講座のご案内～



今年10月31日㊁、11月1日㊂に新潟県で初めて「全国人権・同和教育研究大会」がリージョンプラザ上越をメイン会場に開催されます。

約7千人の参加が見込まれるこの大会では、全国各地で熱心に人権・同和教育に取り組んでいる方々の実践が報告されます。

この大会開催に合わせて、皆さんが住んでいる地域に出向き、同和問題について学ぶ出前講座を行います。この機会に是非、ご活用ください。

出前講座の概要

- 講師料不要 ●上越市内の会場であれば、どこでも可能
- 学習者は5人以上 ●講師は上越市教育委員会社会教育指導員
- 時間は概ね1時間程度 (出前講座実施期間:令和2年9月まで)

問合先：第72回全国人権・同和教育研究大会新潟大会実行委員会事務局（上越市教育委員会内）
☎ 025-545-9220

【理事会・評議員会開催報告】

11月14日に令和元年度第3回理事会、11月28日に第2回評議員会を開催し、全ての案件が原案通り可決・承認されました。

【第3回理事会議案】

1. 安全衛生管理規程及び安全衛生委員会運営規程の制定について
2. 給与規程の変更について
3. 令和元年度資金収支補正予算について
4. 評議員会の招集について

【第2回評議員会議案】

1. 令和元年度資金収支補正予算について

クイズ2の答え：① 北海道

（戦後に植林活動が行われなかつたことに加え、北海道のスギ花粉の飛散期間は本州よりも短いといわれているため。）

上越市社会福祉協議会
令和2年3月1日発行

社協だより 6

善意の寄付に感謝を込めて…

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご淨財を社会福祉に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。(寄付金額1万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略)

令和元年9月1日から
令和2年1月31日まで



♥ 社会福祉事業のために

●本所

有田趣味の家	10,000円
(一財)上越市環境衛生公社	42,690円
株ユアテック上越営業所	支援金
JJAえちご上越直江津地区農協まつり	10,400円
高田聖書教会	10,000円
木田新田ゲートボール愛好会	20,000円
松ヶ峯カントリー倶楽部職員一同	支援金
曹洞宗新潟県第三宗務所青年会	36,905円
上越ニットサークル	10,000円
NOC新潟県お見合いセンター上越	支援金
上越友の会	10,000円
匿名	100,000円
匿名	20,000円
鴨島1丁目老人会「いきいきクラブ」	13,066円
三菱ケミカル労働組合北越支部直江津分会	20,234円
直江津ロータリークラブ	10,000円
春日山莊	支援金
ラージスン久子	
●安塚支所	
東頸地区仏教会	15,000円
匿名	50,000円
●浦川原支所	
上越市立浦川原中学校	支援金
東頸地区仏教会	15,000円
浦川原商工会工業部会	15,000円
●大島支所	
匿名	支援金
東頸地区仏教会	15,000円
●牧支所	
東頸地区仏教会	15,000円
●柿崎支所	
ひふみ屋商店(柿崎)	10,000円
柿崎商工会女性部	41,364円
●大潟支所	
山田久次	150,000円
小山シズ、小山俊明	10,000円
大潟ゴルフ同好会	30,000円
愛音の会	25,000円
●頸城支所	
かおり庵(株)	45,000円
JAえちご上越頸城支店	支援金
井澤ハツ子(矢住)	50,000円
伊東栄史	29,484円
●清里支所	
丸山秀男(岡野町)	50,000円
笠尾カウ子(上深澤)	70,000円
●三和支所	
匿名	30,000円

♥ 物 品

●本 所

直江津理容組合	タオル200本
木楽会	タオル27枚他
鎌野淳(国府)	尿取りパット3袋他
丸運・田中・高館共同企業体、	
(株)城東電工、(株)山田商会	演台1台
春日新田七福会	雑巾57枚
高田理容組合女性部	タオル120枚
井澤一郎	オムツ3袋、プラ手袋2箱他
平野榮子	オムツ5袋、パット2袋他
高田たばこ販売協同組合	タオル250枚他
池田建二(仲町)	ゆず多数
なごみ会	タオル250枚
NTフーズ	餃子1,200個
内山君代(新光町)	コシヒカリ玄米30kg
匿名	タオル多数
UDトラックス新潟(株)上越支店	支援物品
謙信高志の里	
小町いずみ会	支援物品
渡邊幸雄	絵画1点
(株)綜合タップ	車椅子2台
佐藤千代子	充電式吸引器1台
●安塚支所	
やすらぎ荘	
池田恒男	じゃがいも2箱、夕顔4本
商工会女性部	雑巾120枚
やすづか学園	
上越中央ライオンズクラブ	図書カード
(一財)上越市環境衛生公社、秋山正道	
松本咲子、丸田弘	支援物品
●浦川原支所	
匿名	コシヒカリ玄米60kg
山崎活美	紙パンツ3袋、介護ベッド1台
宇賀田禎	シルバーカー1台
●大島支所	
匿名	コシヒカリ玄米120kg
●牧支所	
やまゆりの家	
山岸由美子	オムツ1袋
●大潟支所	
割烹旅館三景	タオル多数
やすらぎの家	
タキヤ理容所	業務用洗剤2箱
●吉川支所	
金子初枝(長峰)	タオル、肌着類多数
平田エミ子	支援物品
吉川商工会女性部	タオル77枚
ほほ笑よしかわの里	
蓑輪信子(柿崎区)	支援物品
吉川商工会女性部	フェイスタオル50枚
●中郷支所	
長沢睦子	毛布、敷きパット10枚

●板倉支所

市村豊(稻増)
紙オムツ、尿取りパット多数

山崎昭夫(関根)
フェイスタオル多数、便座シート3枚他

板倉ふれあい工房

(株)アーコニックジャパン
アルミ缶多数
㈲穂海農耕
アルミ缶・米ぬか多数

●三和支所

すいせんの里
西條文雄
オムツ類多数
宮沢勝行(北代)
紙パンツ2袋

北村剛(神明町)
紙パンツ、尿取りパット多数
富村興一郎
オムツパット1袋

美杉の里

小林武義(錦)
歩行器1台
ヘルパーステーション上越南

川上敏雄
支援物品
小林道夫
オムツ他多数

●名立支所

椿寿苑
室橋弘(名立小泊)
紙オムツ2袋
匿名
手作りお手玉60個他

♥ 使用済切手

第7地区民生委員児童委員協議会
小菅久美子、石黒紀久子、(株)滝田
(一財)上越環境科学センター、直江津
ショッピングセンターエルマール、第4
地区民生委員児童委員協議会、城西保
育園、柿崎郵便局、大和ハウス工業(株)
特別養護老人ホームほくら園、直江津
港木材輸入協会、安江睦会、(有)上越ハ
イキー、牛木商事(株)、木楽会、渡邊一枝
(株)MARUWA、(有)渡辺工務店、東頸生
コン(株)、高田昭和町郵便局、吉越智秀
NSステンレス(株)直江津支店、日本
製鉄(株)直江津製造所、上田税務会
計事務所、上越たばこ販売協同組合
上越地区電友会、(株)横山工務店、五智
郵便局、田中節子、吉和会、高田たば
こ販売協同組合、(有)第一セメント加工
障害者就業・生活支援センターさくら
上越八幡郵便局、(株)大島組、上越運送
(株)、有終福寿会、栗田朝子、笹川光明
鴨島1丁目老人会「いきいきクラブ」
高橋純子、新潟県信用組合、沖見郵便
局、高木利枝、保倉地区公民館、保倉
地区民生委員児童委員、(株)上越メンテ
ナンス、上越商工会議所、高田文化協
会、もくれんの会、直江津有田郵便局
野口優里佳、第四銀行柿崎支店、
名長会、中田建設(株)、犀潟郵便局
仲町6丁目町内会、浦川原小学校、ピザ
とパンの店ダンケ、四寿会、吉川郵便
局、春寿会、有限会社共和塗装、高田
南本町郵便局、パナソニック・タワー
ジャズセミコンダクター(株)、黒岩憲子
森本佳子、匿名

花粉症の時期に、避けたほうがいい服装はどれでしょう？

- ① ポリエステル素材のジャケット
- ② ウール素材のコート
- ③ 革ジャン

令和元年度社会福祉法人 上越市社会福祉協議会表彰式を挙行

令和元年11月28日㊏に「やすね」において、令和元年度社会福祉法人上越市社会福祉協議会表彰式を挙行し、長年にわたり上越市において社会福祉に顕著な功績のあられた7名5団体に表彰状・感謝状を贈呈させていただきました。当日は、3名5団体の方が出席され、受賞者を代表して『ひまわりアンサンブル』、代表の岩崎吉一様から謝辞をいただきました。



表彰を受けられた皆さまをご紹介します(順不同・敬称略)

◆上越市社会福祉協議会長表彰 被表彰者

- 民生委員児童委員(12年以上在籍し功績顕著な方)
石塚 隆昭
- 上越市社会福祉協議会役員
(役員・評議員で10年以上在籍し功績顕著な方)
井部 辰男
- ボランティア団体(活動期間が概ね5年以上で、活動顕著な団体)
N・S・C会
・定期的に老人福祉施設を訪問し、話し相手や軽作業のボランティア活動を行うなど。

ひまわりアンサンブル

- ・月に数回、各区の福祉施設においてハーモニカと大正琴の演奏ボランティア活動を行う。

朗読奉仕の会

- ・三和区内の福祉施設において絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。

●ボランティア個人

- (活動期間が概ね5年以上で、功績顕著な方)
小林 美佐子

- ・毎週、安塚やすらぎ荘へ訪問し、お茶出しや話し相手等を行う。

増田 康子

・毎週、安塚やすらぎ荘へ訪問し、お茶出しや話し相手等を行う。

村松 芳子

・デイサービスにおいて、お茶出しや話し相手などのボランティア活動を行う。

田中 久美子

・自ら地域の茶の間を立ち上げ、現在もお世話係として活動している。

山本 田鶴子

・カラオケ慰問を行っているほか、三和区内すべての福祉施設に月数回カラオケ慰問し、まつりや芸能祭でも歌声を披露している。

◆上越市社会福祉協議会長表彰 被感謝者

- 篤志団体(多年にわたり継続的にご寄付され地域福祉の向上に貢献された団体)

高田日蓮宗寒修行団

宗教法人正輪寺

ご受賞おめでとう
ございました



暖かくなり花粉が飛び交う季節になりました。ウイルスや花粉を吸い込む率を減らすのにマスクは手軽で効果的ですが、きちんと装着することが大切です。ポイントを押さえて予防効果を高めましょう。

マスク装着のポイントを確認しましょう

- ①マスクの表を外側にして、半分に折り、ノーズクリップを曲げ、プリーツを上下に広げる。
- ②耳ひもをかけ、ノーズクリップが鼻の形に沿うように押さえながら、あごの下までマスクを伸ばし、顔にじませる。
- ③深呼吸して空気漏れをチェック!
※鼻とあごがきちんとマスクで覆われていないと効果は半減。耳が痛くなるのはマスクが小さいのかも。サイズを確認してみてね!



皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。

【連絡先】上越市社会福祉協議会 総務課 ☎ 025-526-1515 / FAX 025-526-1230
Eメール jsks-jouetu@jouetushisyakyo.jp



社会福祉協議会 HPへ

上越市社会福祉協議会
令和2年3月1日発行

社協だより 8

